



Black
Succubus
R-18



僕の恋人は照れ屋だ。



いっぱい伝えても、僕の言った10分の1にも満たない回数で、小さな声を震わせながら

私も...



というのがやっとだ。

身体を繋げる事もある。けど、いつも声を控え目にして、僕にリードされるままだ。僕としては、嬉しいけれど、もっと乱れた姿を見たい。



と、言う事だ。

仕入れて来ました。

電子ドラッグ

ズズズ

これがポッド達にバレたら大目玉だけど、
いつもより長くスリープ時間を設定したし、
念のため、宝箱に入れておいた。
後で施錠解除すれば問題無い。

結果報告頼むよ!

by ジャック

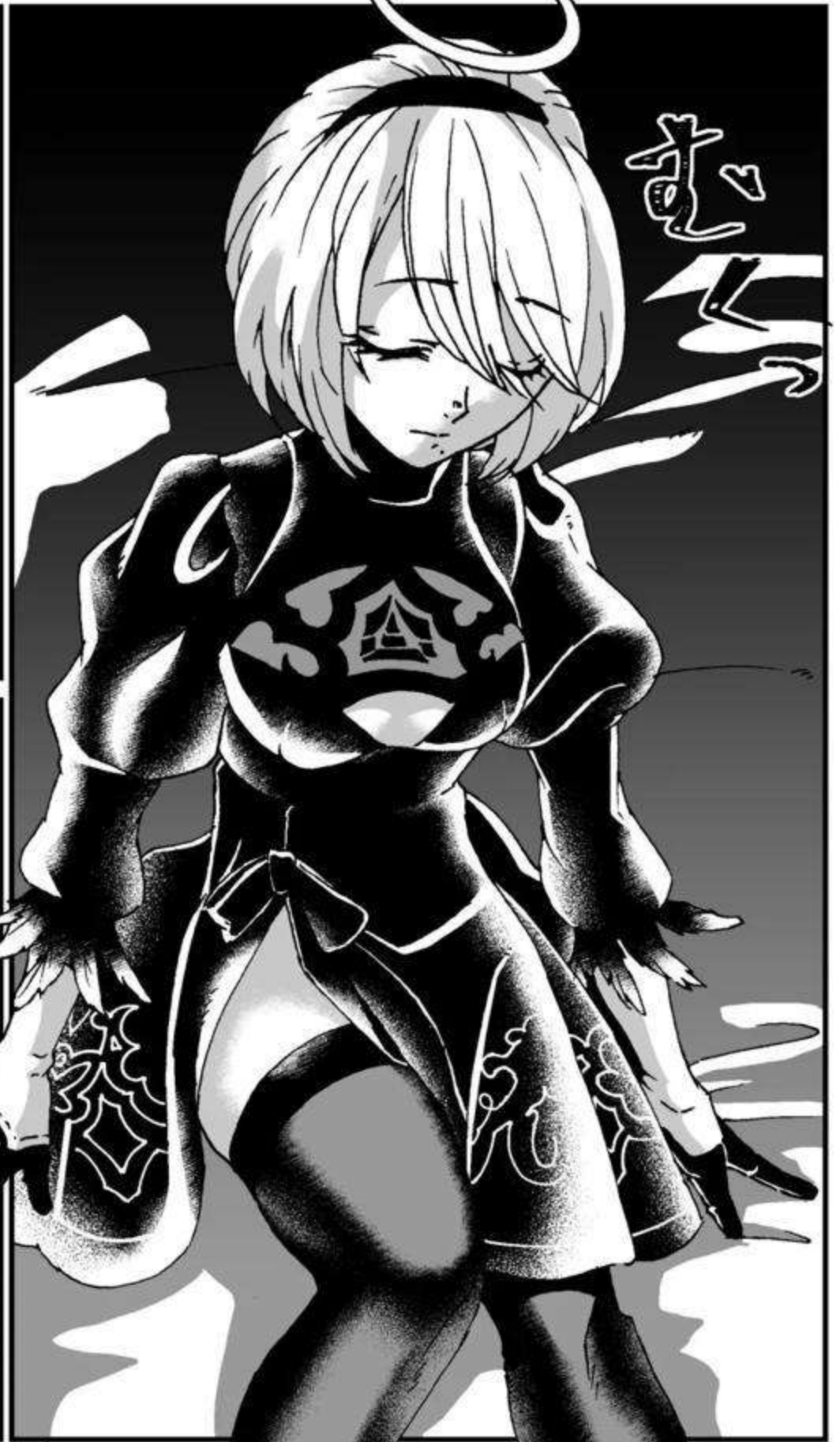
目覚める前に頭部の神経意外の
従属化を開始。

ゴゴゴ

HACKING

TAP







従属化とはいえ、明確な指示出しはしていない為、
2Bが気持ち良くなる為だけの自慰行為を目の前で見せて貰っている。



ふっ



流石、戦闘型。
異常察知には敏感ですね。





泣きそうな顔で懇願する2B、可愛いなあ。でも...

ダメ。
ちゃんと上手にイケたら、
解いてあげますよ

びくっ



...どうしてこんなに可愛いんだろう、この人は。

ナインズの前で、こんな、はしたないの...

嫌...



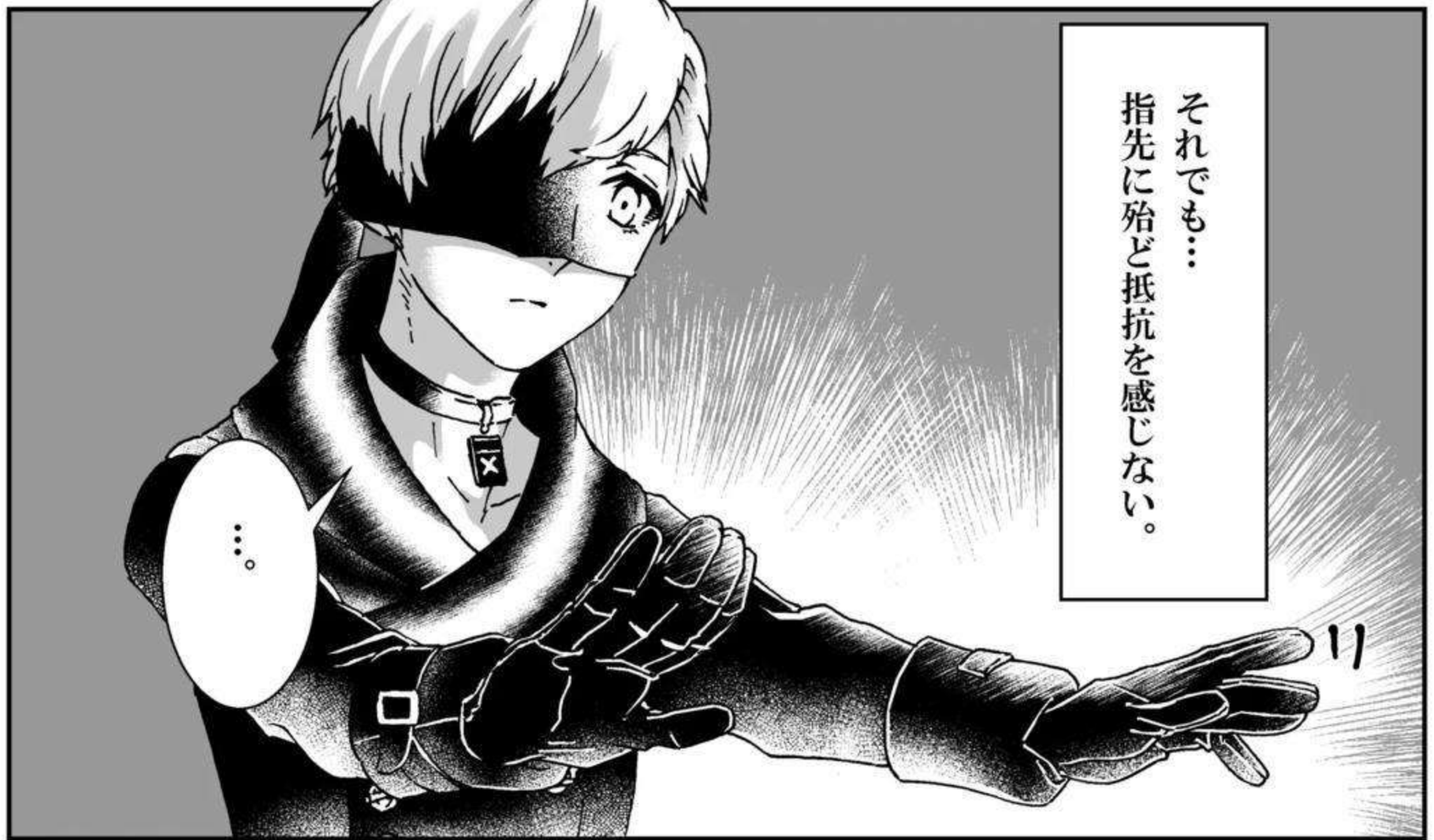
「約束通り、解除してあげますね。
「従属化」は。」



んっ
びく
びく
びく



操作側にも少々反応が及ぶのか、
僕自身の義体にも熱、心拍数、それと甘い疼きが広がる。



それでも…
指先に殆ど抵抗を感じない。

…



ねえ？

もっとしてほしいんでしょう？
2B…？

感じ…過ぎですよ、どうーびー…

んあッ

アッ

んんんん

あ…!?

んんんん…

頭の中に、2Bの思考が流れ込んでくる。



電子ドラッグで頑なな彼女の思考が外に出やすくなってる。なんて可愛いんだろう。



可愛くて、とてもいやらしくて、掛け替えのない、女の子。





どうして欲しいか、言っただらいい？
じゃないと、このままだよ？



かんんん



ナイン…ズ…



甘そう…



ひっ…あんっ…

出会った頃は知らなかった。意外と泣き虫の君。

所詮人間の真似でしかない僕らの涙には塩気もなく、味もしない。
水と同じだった。
それでもこの行為を結ぶ事は、僕らにとっては
何よりも掛け替えのない事だ。



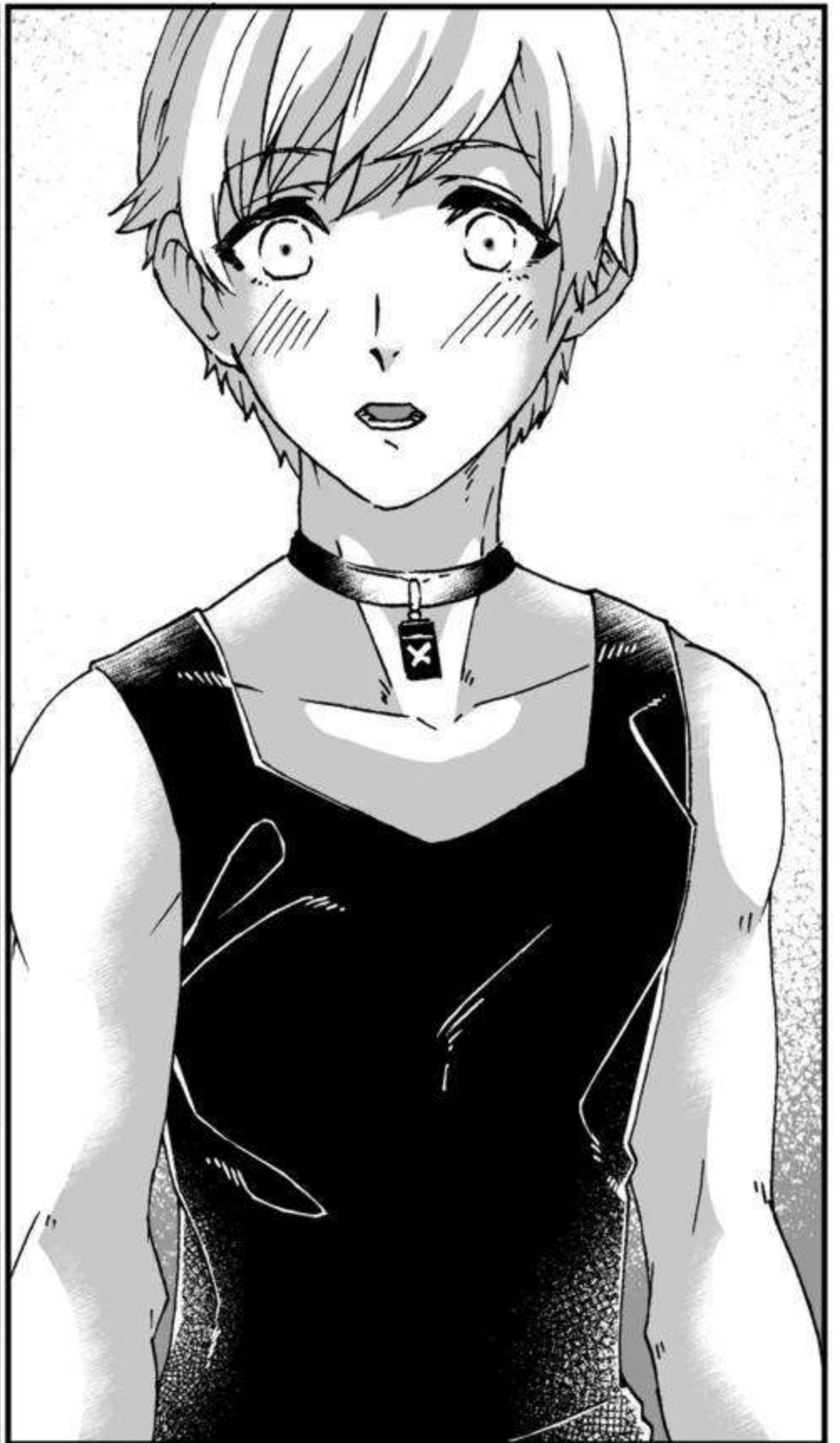
欲しい…

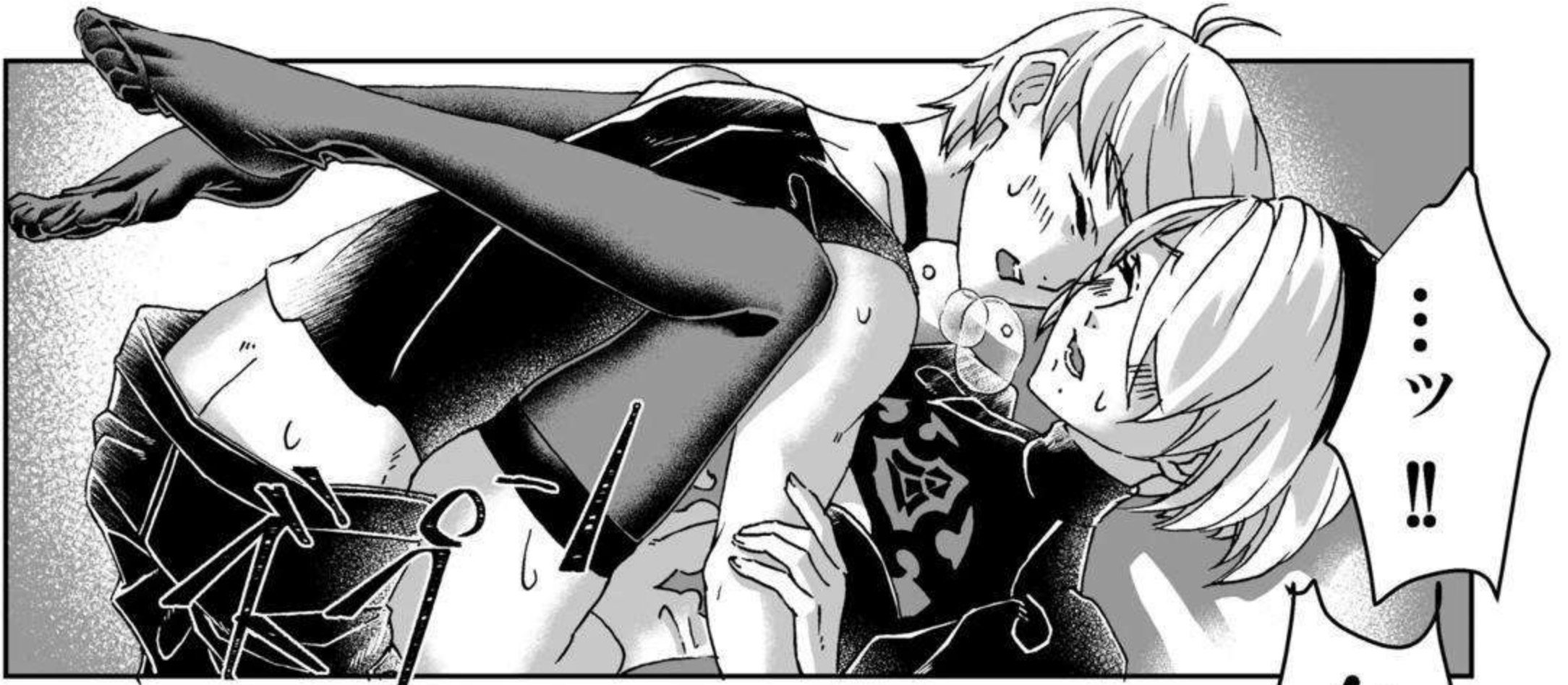
ナインズが…



もう、2Bは本当に照れ屋さんなんだから！

限界です！！
うっ







何年このボディで過ごして来たんだろう。
塔が機能を停止して、2人で暮らして。
それでも飽きる事なんてない。もうたったひとつのこの身体で。



細かい傷はあっても2Bの身体は美しい。



脈動を、肌の質感を、
冷却用に放出された擬似の汗も、
この指先で触れる度に嬉しく思う。

いつもより、浅いですね。
気持ちいいですか？



割り開く内側が僕を迎え入れて、
かなり下まで下りて来ている。
こんな機能まであったなんて知らなかった。

嬉しいです。

はっ

本当にどこまでも人間に限りなく近い、
機械人形の、生命の真似事。
それでも、僕は、

君が、好きだ。2B。

るん

カ
ク

し
る
ん
カ
ク





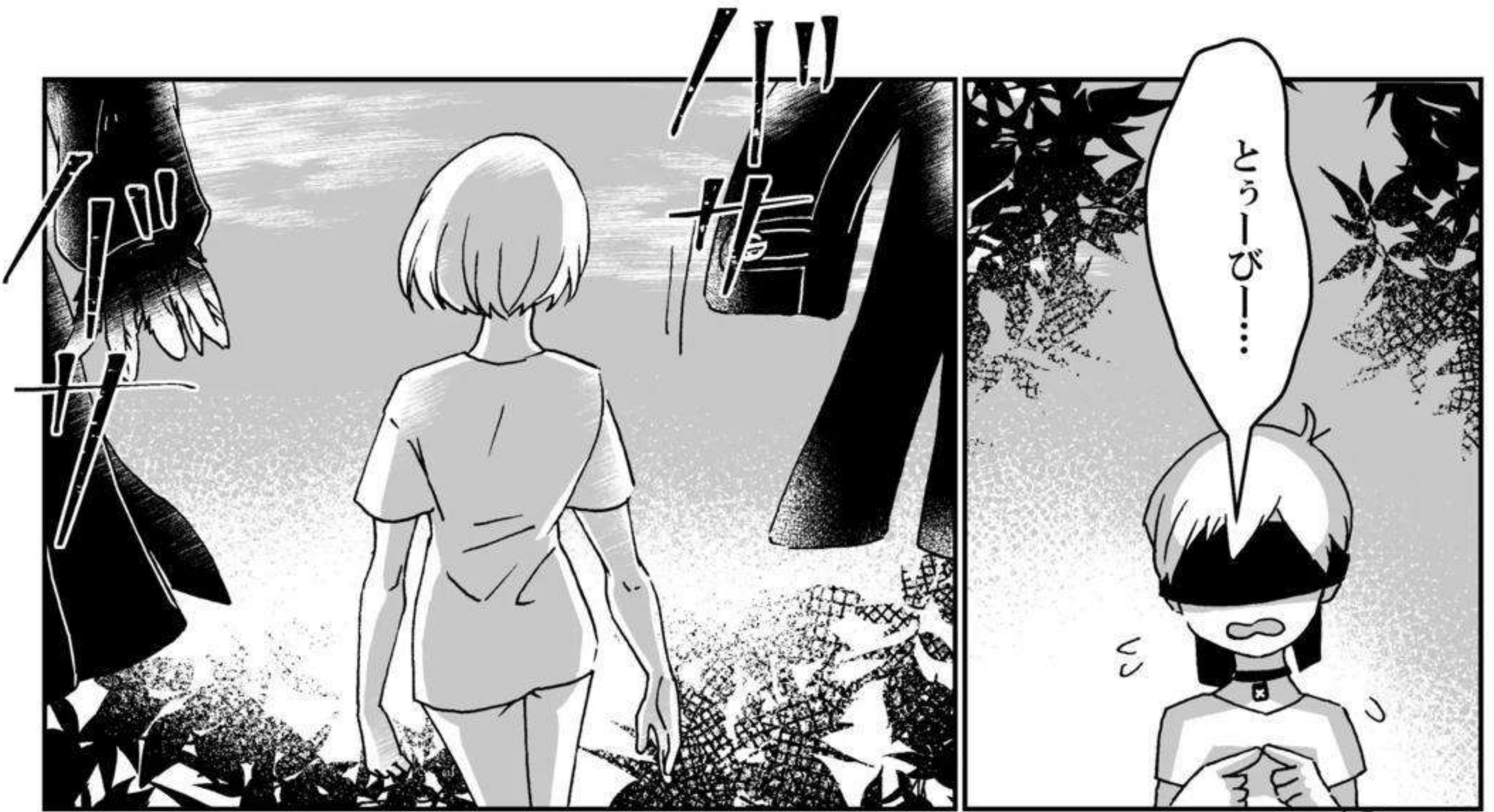
ふー、

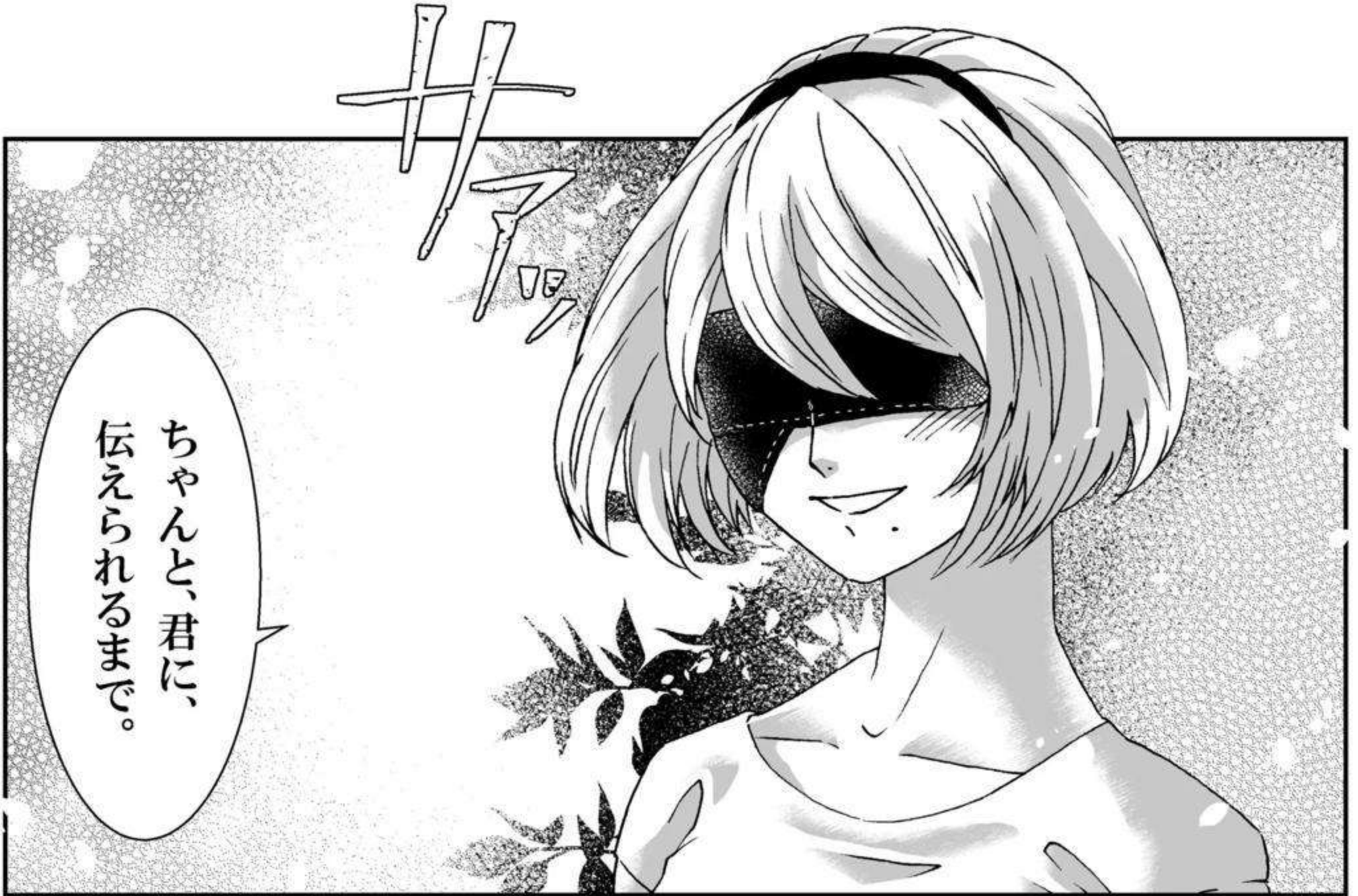
あー

した



おやすみ、2B。





ちゃんと、君に、
伝えられるまで。



とーびー!!



僕は、彼女に虜にされているばかりだ。



Jack
Saccaria
R-18